

出席者 有識者・委員・行政 計24名

○次第

あいさつ : 縮充のまちづくり検討委員会 座長 作野 広和 教授
縮充戦略会議 座長 江見 秀樹 副町長

報告事項 : 行政側の動き、地域の動き

意見交換会 : 進行 佐伯縮充戦略アドバイザー
話題提供 西川 正さん

○小人数グループに分かれて意見交換会

テーマ : 「未来の佐用町での充実した生活って具体的にどんな状態？」

有識者・委員・行政で少人数のグループに分かれ、意見交換会を行った。



未来の佐用町での充実した生活って具体的にどんな状態？

○充実した場所・状況・まち

ここにいてもいいと思える場所がある

ともだちがいる

やる・やらないの自由があり、やりたい事を自由にできる

今日も楽しかった、おもしろかったと思いがながら布団に入る

→大人になってからそういう経験ほとんどない。

日々やることがある

地域での行動拠点を充実させる

たくさんあそべるまち

心に余裕がもてるまち

安心安全のまち

過疎地ならではのサービスを

中心部と同じサービス

佐用中心地は近代的に・周辺は自然

やりたい仕事がある

○生活

心身ともに健康で過ごすこと

一日しっかり仕事をやりとげる

健康に100歳まで長生きする

退職後は家でのおんびり、休日はたまに都会へ

【昭和】不便だから不幸

【現在】不便でも不幸ではない

家族の笑顔が見れる

趣味で農業、「おいしい」が生きがいに

収穫した作物をシェア、自分一人の幸せをみんなへ

意見交換で出た意見

○人間関係

普段からのコミュニケーションが大切

あいさつが良くできる生活

自然にでるおはよう!

ワイワイおしゃべりできる

お互いを認め合える

思いやり・助け合いのある生活

色んな世代の人との対話の場をもっとつくる

ともだちがいる

同じ志・目標をもった仲間がいる

(仲間がいてこそ色々できる)

人とのつながり・・・①地域で子供を育てる

②仲間がいること

いいコミュニケーションvsウワサ話

隣近所でちょっとしたおしゃべり相談が出来る

ネガティブなウワサ話→窮屈→会いたくない

ポツンと一軒屋でも 良くない?

↑そういうことを言える関係

○子供・子育て関係

昔は「とんど作り」も6年生の子がやっていた。

自然とあそぶことができる!

子どもが少ない分 手厚い

地域の人、みんなで子育て

現状習い事の選択肢は 少ない

大人の価値感を 子どもに押しつけない(習い事塾・英会話)

あそぶ選択肢をつくっていないのでは?

親が勇気を出して「近くに住まない?」と言って

みる?→人口減食い止められるかも

でも「田舎におらんでもええ」言ってしまうがちな年代(昭和の苦勞、知っている)

将来どんな職業に就きたいか子供の意見聞く

○今ある資源を活かす

地産地消(田・畑・川) 鮎・魚が取れる

自然を活かす生活

適度な田舎

天文台など今ある資源を大切に

人口減→基本的には一人あたりのリソースは増える
災害時むしろ強い! 地域ぐるみで対応できる、大事にした方

がいい!

食料・・・自給できる、井戸がある

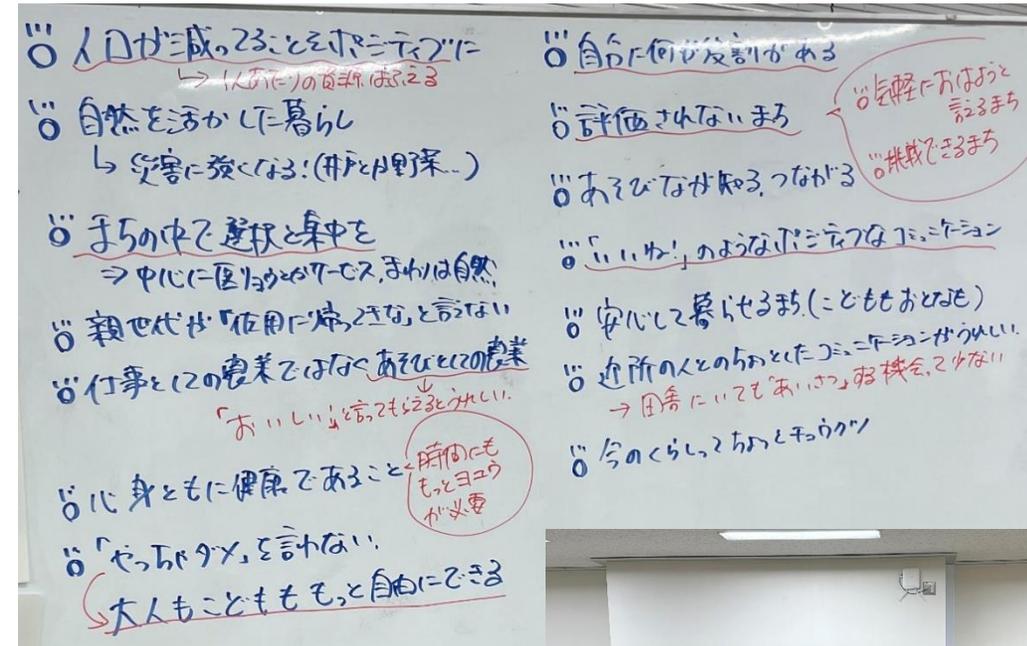
井戸大事にした方がいい

都会はインフラに頼りすぎている

未来の佐用町での充実した生活って具体的にどんな状態？

○発表まとめ

- ・人口が減っていることをポジティブに
一人あたりの資源は増える
- ・自然を活かした暮らし
- ・まちの中で選択と集中を
→中心に医療サービス、周りは自然
- ・親世代が「佐用に帰ってきな」と言わない
- ・仕事としての農業ではなく、遊びとしての農業
- ・心身ともに健康
- ・時間に余裕が欲しい
- ・「やっちゃダメ」を言われない
大人も子供も、もっと自由にできる
- ・自分に何か役割がある
- ・評価されないまち
- ・気軽に「おはよう」と言えるまち
- ・挑戦できるまち
- ・遊びながら繋がる、知る
- ・「いいね！」のようなポジティブなコミュニケーション
- ・安心して暮らせるまち(こどももおとなも)
- ・今の暮らしは少し窮屈



○記録写真

